

第45回 全国自治体病院学会演題及び発表者

1 緑茶は1型超高ウイルス量慢性C型肝炎のインターフェロン/リバビリン療法の完遂率を高め、有効性を改善する。

副院長 鮫島庸一

2 転倒転落予防に向けての「安全のための報告書」の改善
看護部2階東病棟 看護師 石黒生子

3 車いすを快適に!!
看護部2階東病棟 医療補助 落合郁子

4 外科外来で化学療法を受けている患者様への関わり方の一考察
看護部外来第二 看護師 清水まゆみ

演題については、様々な角度から検討が重ねられ、どの発表も各病院参加者の注目を集めました。

また他病院の研究発表からは、多くの情報を得ることができました。



日本救急医学会認定ICLSコース開催

ICLSコースとは、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。

今回は看護部生涯学習ACLSコースを選択した24名の看護師を対象に、当院では初めて開催されました。

当院では今後も緊急時の対応のため、様々な研修を行っていきます。



剖検協力者のめい福祈る

11月2日(木)、富士見台霊園の剖検慰霊碑前で剖検諸霊供養祭が開かれました。当院で病理解剖に協力、医学水準の向上に貢献した故人のめい福を祈りました。

式には、ご遺族の皆さまをはじめ病理解剖に携わる医師や看護師、病院職員ら約60人が参列しました。

1分間の黙とうに続き、市長、市議会議員より慰霊の言葉が述べられた後、参列者により献花が行われ、一人ひとりが慰霊碑の前に立ち、白い菊の花をささげ霊を慰めました。